

協 議 ・ 確 認 書

平成19年1月26日、札幌防衛施設局長（現北海道防衛局長）と苫小牧市長との間で締結した「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定」について、苫小牧市より協議事項が示されたので、北海道防衛局企画部長と苫小牧市副市長との間で、その内容について確認する。

平成19年10月29日

北海道防衛局 企画部長

苫小牧市 副市長

1 訓練移転の事前通知について

(協議事項)

住民の不安や懸念に応えるために、訓練の実施時期など、訓練に関する様々な情報をできるだけ早く住民に対し周知することが必要であることから、実施時期については1か月以上前、その他の情報についても出来るだけ早期に通知願いたい。

(確認内容)

米軍再編に係る訓練移転の訓練計画については、平成19年1月11日の日米合同委員会で合意されたとおり、年度の訓練回数等は、日米間で協議し、前年度の1月を目途に公表することとしており、また、個々の訓練に関する訓練期日等の訓練概要については、決まり次第、関係自治体等に通知することとしている。

当局としては、地元自治体の住民への周知等に必要な期間も勘案の上、可能な限り早期の情報提供に努めて参りたいと考えているところであるが、訓練の実施時期を1か月以上前に提示することは困難であると考えている。

2 訓練態様について

(協議事項)

共同訓練にあたっては、訓練に参加する航空自衛隊と同様の態様とするとなっており、深夜早朝及び土・日・祝祭日の飛行自粛並びに同じ飛行経路で運用することなどとなっているが、アフターバーナーの使用も、訓練に参加する航空自衛隊と同様の態様と解して良いのか。

(確認内容)

航空自衛隊においては、平素より、飛行場周辺の騒音軽減に配慮し、市街地上空等を極力避けた飛行を行うとともに、深夜・早朝及び土日祝祭日の飛行訓練は可能な限り回避するよう努力しているところである。

アフターバーナーの使用については、速やかに高度をとる必要がある場合等安全に運航する上で、航空自衛隊(第2航空団)においても使用することがあるところ、米側のアフターバーナーの使用についても、同様であると考えている。

いずれにせよ、訓練移転の実施にあたっては、出来る限り地元の負担が増加しないよう配慮してまいりたい。

3 騒音測定について

(協議事項)

訓練時には、騒音測定を行うとともに、訓練終了時には測定結果を速やかに公表していただきたい。

(確認内容)

移転訓練実施の際には、騒音測定を実施することとしている。

また、測定結果については、出来るだけ早期にお知らせしたいと考えている。

4 その他

(確認内容)

平成19年1月26日付け「米軍再編に係る千歳基地への訓練移転に関する協定」について、協議事項がある場合には、双方誠意を持って対応する。

以上